

しみず 40th

〒674-0074 明石市魚住町清水 630 番地の 1
(078) 947-1182 (代)
080-2450-2439 (40 回生用学年専用携帯)

どうしていますか？

休校中特別号を再び発行するとは予想していませんでした。元気に毎日を過ごしていますか。Classi のこともあって、担任の先生や2 学年の先生から電話連絡のあった人たちもいましたね。みんな元気でしたが、起床時間はやや遅めの人もいました！休校になり3 週間が経ち、ついつい生活が乱れがちになってきている人もいるかもしれません。

臨時休校が5 月 31 日まで延期になりました。これからは、Classi を利用しながらの学習が本格的にスタートします。登校時に近い生活パターンに戻して、しっかりと計画性を持った生活をするように心がけてください。心も体もコロナに負けず力強く前向きな生活を送っていきましょう！

学年主任 藤村 ゆう子 (英語)

8 日に皆さんの顔を見てから随分と長い時間が経ったような気がします。元気にしていますか？Classi のアンケートを見る限り、ほとんどの人が体調も良く毎日を過ごしているようです。でも、気持ちは3 月の休校と比べると Stay home という状況が続く精神的にもしんどくなってきているかもしれませんね。新型コロナは想像以上に手強いものだと思います。日本全体、世界全体が力を合わせて頑張ることが必要だと思います。そのために、すべての人間にそれぞれの役割があるはずですよ。

先日、One world together at home というレディガガなどが中心となり、アーティストが自宅から行ったヴァーチャルコンサートもその一つだと思います。(Youtube などで見れるのでよかったら見てください。)

今自分ができること、すべきことを見つけてぜひ実行していきましょう。

学年副主任 扶川 雅俊 (地歴)

「困難に直面したとき、何ができるのか…。」そのようなことを日々思っています。医療従事者などの最前線で戦っている人々に対して、感謝の気持ちを強く持ちましょう。

さて、この新型コロナウイルス感染症は、多方面にわたり大きな影響を与えていると思います。世の中が大きく変化し、身近なところにも影響を与えるかもしれません。世の中および、40 回生一人一人に与える影響が最小限に収まる事を切に願います。

これからの休校期間中、全国の高校生には「今まで以上に自立した人間」にならなければならないという課題が与えられたように思えて仕方ありません。他人から強制されるのではなく、自分にとって必要だから、規則正しい生活を送る。学習をする。読書をする。自立している高校生とそうでない高校生との差は、絶対に埋まらない気がします。どうか、外出を控えて、楽をしたいと思う弱気な自分に打ち克ち、この未曾有の困難を乗り越えましょう。

1 組担任 延堂 亮 (数学)

みなさん元気に過ごしていますか？私は元気です。しかし、今までに経験のないことなので、まだこの生活に戸惑っています。この期間は Classi を通じて学習動画をあげていきます。自学自習の習慣をつけるチャンスと捉え、予習復習に取り組んでみてください。臨時休校が明けて、みんなに会えることを楽しみにしています！

2 組担任 古川 千登勢 (英語)

しばらく登校しない日が続いていますが、皆さんどうしていますか。体調管理はうまくできていますか。日本でも他の国々でもまだ、COVID-19 (新型コロナウイルスによる病気) が広がっています。今世界で頻繁に言われていることばです： Let's do our bit to save lives. 人々の命を守るため、個人個人がやるべきことをやりましょう。

皆さんとの再会を心待ちにしています。

3 組担任 植之原 理恵子 (国語)

みなさんお元気ですか。毎日どう過ごしていますか？1 日長いようで、案外、あっという間に時間が過ぎて行くようです。何者にも拘束されない時間をどう過ごすか、自分で考え、自分で目標を見つけ、自分で規則正しく日常生活を送る、簡単なようで難しい必ずみなさんの今後に役立ちます。お互い頑張りましょう。

4 組担任 福岡 憲司 (国語)

4 月 8 日に顔を合わせたきりですが元気ですか。私は今、カミュの「ペスト」を読んでいます。70 年ほど前の作品ですが、かつては黒死病と恐れられたペスト菌による疫病、その蔓延で封鎖されたオランという街（今風に言えばロックダウンですかね？）の人々が、それぞれの個人的事情を抱えながらも連帯してペストに立ち向かう様子が、ドライに、そしてそれだけに余計に熱く描かれています。様々に解釈できる寓意的な作品ですが、もちろん今の状況と重ねて読むこともできます。いつの時代でも、人間は困難と闘いながら前に歩み続けるものですね。

規則正しい生活を送りながら、自分を成長させるためにできることを、時間を惜しんで、しかし焦ることなく、コツコツとやっていってください。お互いに元気な顔でまた会いましょう。

5 組担任 百木 敏幸 (英語)

元気にしていますか。ストレスがたまっているのではと心配しています。早起きをし、向かい風と戦いながらの通学。頑張ろう、と思いながらも眠けに負けてしまいそうな授業。ヘトヘトになるまで自分の限界に挑戦し続けている部活動。友人との他愛ない時間。教室という空間。明石清水高校の空気。学校っていい所ですね。早く会いたいですね。



6組担任 村上 正馬（数学）

みなさんは元気ですか？私も元気です。このコメントを記入している 4/20 は私の誕生日です。次にみなさんが登校したときに一言「おめでとう」と言ってくれと喜びます。それを楽しみにこの期間を乗り切りたいと思います。まずはお互い健康であることを心がけましょう。そして、この期間を有効に利用するために将来について考えて、いろんなことに挑戦しましょう。元気で成長した姿で登校してくれることを期待しています。

7組担任 松原 好正（保健体育）

今は我慢？そろそろ限界って思うよな。。自粛の結果は2週間後って。。しかし、いい話は聞かない今日この頃。。どうなるのか？ 電話して元気、大丈夫と言ってくれたみんなの声が聞けてホッとしました。初めてのことで先生も悩んでいます。。また電話します。

8組担任 加納 達也（地歴）

皆さんお久しぶりです。相変わらず先行き不透明な状況が続いていますね。私事になりますが、4月23日に手術のため入院しました。子供の頃に骨折した右手首の後遺症を取り除くためです。骨を切断してプレートで固定し、靱帯をピンで止めて縫い合わせるというなかなか厄介な手術でした。現在は退院してギブス生活で、傷口の痛みをひたすらロキソニンで抑えています。怪我をしてから25年。何度か手術を試みましたが、時間を要するため断念してきました。しかし、清水高校での新たなスタートと今後の教員人生のためにも、手術をするなら今しかないと思い踏み切りました。そういう意味では私自身今のこの時期を有意義に過ごせているように思います。皆さんにも『今だから出来る事。今しか出来ない事』をじっくり考えて貰いたいです。学校再開に向けて一人一人が取り組める事を精一杯頑張りましょう。

教科担当の先生より その1

生物担当 松岡 敦之

いろんな意味で歴史に残る時をすごされているみなさん、こんちわ、理科の松岡です。
こんな時こそ、腰を据えて学習に取り組んでいただきたいと思います。自分が理解するために。
杉田玄白が友人とともにオランダ語の「ターヘル・アナトミア」を、あーでもないこーでもないと苦心して「解体新書」に翻訳した時代から二百数十年。今は何でも調べることができます。教科書は、前からじっくり、分からない言葉・部分があったら調べる(Wikipedia なんか便利)、調べてもイマイチのところは課題として残しておき、焦らずゆっくり、一つ一つ自分のものにしてもらいたいです。教科書の言葉には意味がいっぱい詰まっています。読み物として、その世界の物語を楽しみながら、取り組んでみて下さい。

教科担当の先生よりは次号に続きます。

Photo Gallery

